



どうする消防分署

村岡 藤弥 議員

建てるという方向で行く

町長



分署は建てる

早期完成を目指せ

複合施設は平成28年度完成を目指すのであれば、早期に取り組みたいと考えるが、

町長 基金条例を作り12月に1千万、今定例会でも9千万円積み立て取り組みを開始した。

老朽化の著しい公共施設が多い、それらを網羅した施設の建設が望ましいが。

町長 現在各種施設が分散している。ある程度集約し、町の核となる施設にしたい。

放課後児童クラブは

消防分署は耐震強度にも問題がある。早急な対応が必要で、防災センターを兼ね備えた消防分署建設を考えるべきでは。

町長 消防分署は建てるという方向でいく。

町長 社会福祉法人「ふたば保育園」に委託し、大石田小に隣接する定員80名の「遊心館児童クラブ」。北小内に22名が利用している「童心児童クラブ」。旧横山小を改修した「仮称横山児童クラブ」が4月より開設予定。



スペースが狭い童心児童クラブ

北小の施設は生活スペースが狭い。町長 遊心館、横山児童クラブでの活動や、可能であれば北小内での場所の確保を考慮するなど調整する。

道路維持管理組合の現状は

町長 道路除排雪業務を一括委託することにより、事務の簡素化と効率化を図られ、円滑な対応ができていく。

組合組織の拡大を図るべき。

駅舎トイレの改善は

町の玄関、大石田駅トイレは構造上、極端に狭く使い勝手が悪い。

町長 清掃は毎日、水明苑にお願いし清潔にしているが、建築構造上、現在の場所での増設は不可能。

増設が無理なのであれば新設の考えを持つべきだ。町長 そういった考えも検討していく。



スキー場 町営以外で存続を図れ

村形 昌一 議員

考えていきたい

町長

里山スキー場の存続を

スキー場を存続させるための方策を考えたか。町長 当然模索したが新たな負担を出す前に町直営の廃止を判断した。町に変わって運営を行う個人や団体があれば運営を任せていいと考えているのでご理解をお願いしたい。

スキー場再生を請負うマックアースや日本スキー場開発に運営してもらえないか。

町長 両者とも10万人以



この光景はもう見られないのか!?

上の利用者は欲しいとのこと難しい。

NPOスキー場として存続させる道はないか。町長 可能だと思いがしつかりした運営能力と責任力のあるNPO法人であるかを見定めて選定する事が肝要かと思う。

スポンサー企業を探そう。町長 今の状況では難しいのではないかと思う。今後、運営する団体があれば町としても協力していきたい。

冬期間の事故対策は

雪が原因による交通事故の状況は。町長 人身事故では平成18年が13件、以降9件、9件、6件、2件、2件平成24年が9件となっており。朝夕の出勤・帰宅時間の事故が半数を超えており時間的にゆとりを持った運転が大事であると分析される。

事故防止対策は

町長 雪道の安全運転等を通じて啓蒙し、交差点付近の視距の確保及び除雪による幅員確保に努めると共に融雪剤の散布によりスリップ事故の防止に務める。



登下校時の安全確保を

強風や気温がマイナス5度以下になると事故が増えるデータがある。対応は。建設課長 業者と連携しながら融雪剤の散布をしている。

北海道で痛ましい交通事故があった。当町でも防雪柵の要望がある地域、例えば小菅から白金間や南小から小菅間等には設置するべきではないか。町長 事故を踏まえて要望を県に伝える。

登校時の路面凍結対策を。町長 子供達の安全を期してやっていきたい。